

(様式4)

社会福祉法人にこここ会 にこここハウス

目標達成計画

作成日：平成 25 年 2 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(2)	事業所と地域の関係	行政関係、区の役員はじめ、地域住民の方々に身近に感じていただき、寄り合いどころとなるようなグループホームを目指す。	利用者の家族、知人、近所の方等の来所も多い。区の役員には、見学会を行い懇談の場を設けた。さらに、拡げた取組みができるよう検討する。	12ヶ月
2	(33)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	利用者、利用者家族の意見を重視し、望まれる終末期ケアの支援を目指していく。	医療連携もしており、家族からは終末期に対するアンケートもいただき、利用者の状態を常に報告し、話し合っている。職員においては、長野県喀痰等研修も受講している。	12ヶ月
3	(35)	災害対策	緊急協力体制の整備、地域の自治体、学校、福祉ボランティア等と災害時の協力体制の強化、利用者が避難できる方法を身につける。	消防署員にも来所いただき避難訓練を行っており、地域の民生委員とも災害時の話しも進めている。今後、地域の消水防団員とも連携し拡げた取組みを進めていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。